

ハンドブック  
ワンポイント  
レッスン

# 知っておきたい規則とルール

## Question

2級審判員資格を持っていますが教えてください。

審判規則第17条(スコアの誤り)について、第1サービスがフォルトとなった時点でポイントカウントの誤りに気づきました。この場合の正審のコールとして「コレクション」「ポイントコール」「レット」「ツーモアサービス」の順で良いのでしょうか。その場合第1サービスから良いのでしょうか。

## Answer

ポイントカウントの誤りの訂正に「レット」の適用はありません。

ご質問者は、正審をしていてコールしたスコアの誤りに第1サービスがフォルトになった時に気づかれ、「コレクション」とコールし正しいポイントのコールをして終わっておればよかったのですが、緊張と焦りの余り自分がサービスを止めたと思い、続いて「レット」とコールしてしまい、レットの時のサービスはワンモアサービスだったか・ツーモアサービスだったか連鎖反応が働き迷われた末に「ツーモアサービス」となったのでしょう。ここでソフトテニスハンドブックを開き、冷静に考えてみましょう。スコアを誤った時の事は【解説22】と審判規則第17条に「第1サービスがフォルトになった時点あるいは次のカウントのコールする際に「コレクション」とコールし、訂正のカウントをコールする」とあります。今回の場合は、「コレクション」の次に「正しいポイントカウントのコール」をし、第1サービスはフォルトだったので、第2サービスから始めることになりませぬ。ところで、「レット」とコールしていますがレットについては競技規則第26条の2項に「サービスがレットとなった場合は、そのサービスをやり直す。」とあり、今回の場合、スコアの誤りであって、レットではありませんので、サービスは第2サービスから始め、ツーモアサービス(第1サービス)にはなりません。

今回、質問者はスコアの誤りに気づきその時点で訂正されましたが、【解説22】からそのまま流して次のポイントのコールの時に「コレクション」とコールして正しいポイントのコールをする方法があったと思います。

重ねて申し上げますが、ポイントカウントのコールの訂正は第1サービスがフォルトになった時点、あるいは次のカウントをコールする際に「コレクション」のコールの後、正しいポイントカウントをコールして訂正だけです。インプレーにおいては誤りに気づいてもプレーを中断せず、そのプレーは有効です。

### 【関連規則】

競技規則第26条(サービスのレット)2 競技規則第36条(ノーカウント)

審判規則第10条(コール)【解説22】

審判規則第16条(プレーの停止) 審判規則第17条(スコアの誤り)

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

7 サービス(6) 12 ノーカウント

審判規則について

7. 間違えてインプレーを止めさせるサインまたはコールをしたら?(プレーの停止)

8. スコアの間違いはどうすればよいか?(スコアの誤り)(1)

